

会長就任のご挨拶

会長 藤村やよい



会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

2025年11月15日の会員総会にて、大塚映前会長の後任として会長に就任いたしました藤村やよいでございます。微力ではございますが会長として本学会の発展に鋭意務めて参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

大塚映前会長におかれましては、3年間にわたり本学会の発展にご尽力いただきました。中でも会員の皆様の研究活動を促進させるべく、研究年報や全国大会での研究発表における学会賞・奨励賞および研究助成金の創設など、活発な研究活動の促進に積極的に取り組まれました。ここに心からの感謝と敬意を込めて、厚く御礼申し上げます。

さて、日本国際秘書学会(JAISS: Japan Association for International Secretarial Studies)は、1992年6月13日に設立され、その目的は当初、国際秘書に特化していましたが、その後の社会のグローバル化や情報化などにより国際秘書を取り巻く環境は大きく変化し、研究領域の拡大なども伴い、本学会の目的が「(1)グローバル社会における秘書の職能に関する研究、(2)グローバル社会における人材育成に関する研究」に変更されました。

2024年度までに研究年報第32号、ニューズレターNo.38まで発行し、全国大会第34回および東西支部合同研究会などを開催して参りました。その間に学会賞・奨励賞や研究助成金が新設され、研究年報および全国大会の研究発表を対象に奨励賞を授与しています。会員の皆様には積極的に投稿や発表いただき、賞の対象や研究助成金を目指してご自分の研究活動に励んでいただきたいと存じます。

グローバル化や情報技術の発展は著しいものがあり、最近では、AI、DXなどにより秘書やビジネスを取り巻く環境が大きく変化しています。その中でビジネスの変化を捉え、グローバル社会における国際秘書の在り方や人材育成の内容の変化に向き合いながら、ご自身の研究領域の拡大や深化に努め、研究年報や全国大会などで積極的に研究発表を行っていただきたいと存じます。

会員の皆様の知見と活動が本学会の力そのものでございます。皆様の期待に応えるべく、種々の活動に積極的に取り組み活力ある学会として進めて参ります。本学会のさらなる発展のためご支援・ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2025 年度 役員

(2026 年 2 月 28 日現在)

常 任 理 事	会長	藤村 やよい	日本秘書協会
	副会長	串田 敏美	産業能率大学
	広報	串田 敏美	産業能率大学
	会計	今泉 景子	名古屋外国語大学
理 事	東日本支部長	辻 京子	茨城女子短期大学
	西日本支部長	北岡 昭子	近畿大学九州短期大学
	研究年報 編集委員長	栗原 裕	愛知大学
	研究年報 編集委員	笹瀬 佐代子	元常磐短期大学
	研究年報 編集委員	周藤 亜矢子	尚美学園大学
監 事	高池 宣彦	常磐大学	
	森田 篤司	大阪国際大学短期大学部	
事務局	今泉 景子	名古屋外国語大学	

第34回全国大会 オンライン開催

2025年11月15日(土) 13:00~16:00、大会テーマを「これからの時代に適応できるビジネス・スキルービジネスパーソンの秘書力の磨き方・生かし方」とし、Zoomによるオンライン形式で開催された。

全国大会委員会からのご挨拶

第34回全国大会委員会

日本国際秘書学会第34回全国大会は、2025年11月15日(土)、例年と同様、Zoomによるオンライン形式で開催されました。大会テーマは、「これからの時代に適応できるビジネス・スキルービジネスパーソンの秘書力の磨き方・生かし方」とし、あらゆるビジネスの場面で活用できる汎用的能力として秘書力に視点を当て、ビジネスパーソンとしての能力の生かし方などについて考える機会といたしました。

大塚会長の開会のご挨拶の後に続き、まず研究発表が行われ、生成AIにおけるリーガルリサーチについてのご発表をいただきました。

その後の基調講演では、経営コンサルタントで株式会社小宮コンサルタンツ代表取締役CEOでもいらっしゃる小宮一慶氏をお迎えし、大会テーマに添って「秘書力は最強のビジネス基礎力である」と題して、ビジネスパーソンにとって思考力を高めていくこと、思ったことや言ったことは実行していくこと、信頼されることの重要性など大変有意義なお話をいただきました。講演後に行われた質疑応答でも活発に質問が出され、実務家、教育者、研究者としても大変参考にさせていただける示唆に富むものとなりました。

本大会は理事全員が大会委員を務め、鋭意準備にあたりました。大会にご参加いただきました会員やビジターの皆様には、お忙しい中、誠にありがとうございました。大会委員一同、心より御礼申し上げます。

■プログラム

研究発表 「生成AI時代のリーガルリサーチ」

常磐大学 高池 宣彦

座長：栗原 裕

基調講演 「秘書力は最強のビジネス基礎力である」

小宮 一慶 氏 (経営コンサルタント)

株式会社小宮コンサルタンツ 代表取締役 CEO)

講師紹介：辻 京子

質疑応答 基調講演者 小宮 一慶氏とのディスカッション

コーディネーター：辻 京子

■第34回全国大会 大会委員

大塚 映 (愛国学園大学)

藤村 やよい (日本秘書協会)

串田 敏美 (産業能率大学)

今泉 景子 (名古屋外国語大学)

周藤 亜矢子 (尚美学園大学)

上田 知美 (四天王寺大学短期大学部)

高池 宣彦 (常磐大学)

辻 京子 (茨城女子短期大学)

栗原 裕 (愛知大学)

大会テーマ

「これからの時代に適応できるビジネス・スキル ービジネスパーソンの秘書力の磨き方・生かし方ー」

基調講演

「秘書力は最強のビジネス基礎力である」

小宮 一慶 氏 (経営コンサルタント 株式会社小宮コンサルタンツ 代表取締役 CEO)

はじめに

ビジネス基礎力とは、「思考力」と「実行力」だと私は定義している。その基礎力を高めるには秘書力を鍛えることとほぼ同義だと考えている。秘書力を鍛えることが、ビジネス基礎力を大いに高めることとなる。

1. 思考力と実行力がビジネス基礎力

1.1 放っておくと思考力がどんどん落ちる時代

思考力が必要なことは、言うまでもないことだが、この便利な時代は、実は思考力が放っておくとどんどん落ちることに多くの人が気づいていない。例えば、電車で移動する際も、行き先や乗換駅を知っていたら Suica など「ピッ」と言わせて入場し、「ピッ」と言わせて出るだけだ。昔なら、東京や大阪などでは複雑な路線図の中から、行き先の駅を探し、切符を買い、場合によってはお釣りを確認し、その小さな切符をなくさないようにするなど頭を使っていたが、今ではそういうことをしなくても暮らせる。便利な時代は思考力がなくても暮らせる時代なのだ。本を書いている、読者の思考力、読解力が落ちているのに気づく。一方、世の中は複雑系で、そしてどんどん複雑になっている。思考力がないと、その複雑さについていけない。

1.2 実行力がないと成果が出ない

思考力があることも大切だが、考えたことを実行することができないと成果を出せない。評論家みたいな人も少なくないが、それでは評価されないし、自分の人生のステージを上げることもできない。思っていることがたくさんあってもそれを実行に移せない人も少なくないが、実行力を高めるステップは2つあると考えている。ファーストステップは、言ったことを守るということだ。「信」という字は、「人」と「言」から成り立つ。言ったことを守ることが信用の源泉だが、同時に実行力を高める。私は、人と約束したことなどは、手帳にメモするようにして忘れないようにしているが、それを実行することで実行力は高まっていく。

実行力を高めるセカンドステップは、言ったことだけでなく、「思ったことをやる」ことだ。〇〇へ行きたい、△△さんと会いたいなど、思ったことをやると実行力が高まる。逆に、思ったことをやらないと、やらないクセがつき、実行力は上がらない。時間的、経済的制約がある中で、思ったことを実行していくことが大切だ。

2. 秘書力でビジネス基礎力が高まる

2.1 相手が何を必要としているかを先回りして考える

相手の気持ちになれたり、相手の立場でものごとを考えられる人は幸せになれると私はよく話をするが、秘書の仕事というのは、それを最も求められている仕事だ。命じられた仕事を、期待通りにやることはもちろん大切だが、それ以上のことをできるかどうか大きなポイントとなる。

そのためには、当然、秘書としての基本的なスキルが必要だが、普段から上司や同僚などがどういう仕事をしていて、どういうふうに手助けができるかを考えておかなければならない。思考力が求められる。もちろん、これは秘書だけに限られない。

そして、その手助けをてきぱきと確実に実行することが秘書の仕事だろう。

2.2 秘書に助けられた私のビジネスキャリア

私は小さな会社のトップをもう30年やっているが、秘書やスタッフに多くを助けられた。今から15年から10年前くらいが一番忙しかった。小さい会社を運営しながら、社外役員や顧問を10社ほどやっていた。それに加えて多い時には年に150か所くらいの講演をし、大学の客員教授、テレビのレギュラー・準レギュラー番組を大阪中心に3本抱えていた。それに加えて、連載を最多で月17本、本を年間に10冊程度出版していた。移動も多く、年間100泊ほどホテルに泊まり、170回新幹線に乗り、飛行機も多い時には年間80回ほど乗っていたことがあった。それをすべて支えてくれたのが秘書だ。秘書なしではこれだけの仕事をするのは無理だったことは間違いない。今でも、15人ほどの小さな会社を運営し、社外役員や顧問を10数社、大学の客員教授をやっているかたわら、年に100か所ほどの講演、連載を月に6本、本を年に2冊ほど出版しているが、当然、秘書に多くを依存しており、とても感謝している。また、会社の新規プロジェクトなども秘書に助けてもらっている。

私としては、私をサポートしてくれることに加えて、秘書自身も「なれる最高の自分」になることを心より期待している。

小宮 一慶氏 ご略歴：

1957年、大阪府堺市生まれ。81年京都大学法学部卒業後、東京銀行に入行。84年から2年間、米国ダートマス大学タック経営大学院に留学し、MBA取得。帰国後、同行で経営戦略情報システムやM&Aに携わったのち、岡本アソシエイツ取締役役に転じ、国際コンサルティングにあたる。この間、93年には、UNTAC（国連カンボジア暫定統治機構）選挙監視員として、総選挙を監視。94年には日本福祉サービス（現セントケア）企画部長として在宅介護の問題に取り組む。95年に小宮コンサルタンツを設立。2014年、名古屋大学客員教授に就任。十数社の非常勤取締役や監査役、顧問も務める。

幅広く経営コンサルティング活動を行う一方、年百回以上の講演を行う。新聞・雑誌等の執筆・出演も数多くこなす。経営、会計・財務、経済、金融、仕事術から人生論まで、多岐に渡るテーマの著作を発表。その著書160冊以上、累計発行部数は405万部を超える。

基調講演における質疑応答

コーディネーター 辻 京子

基調講演者小宮氏と参加者との活発な質疑応答が行われた。
(詳細は「研究年報 33 号」に掲載)

.....

研究発表 I

「生成 AI 時代のリーガルリサーチ」

高池 宣彦 (常磐大学)

生成 AI を用い、法令検索と判例検索という 2 つのリーガルリサーチ課題に対する出力結果を比較・分析し、その有効性・限界・課題を明らかにすることを目的とした。比較の結果、法令検索の課題 1 では、条文特定や施行規則の提示には AI 間で差が見られた。解説資料の提案も限定的であった。判例検索の課題 2 では、事件名や最高裁判決情報の特定精度は比較的高かったものの、下級審判決や判例評釈といった二次情報へのアクセス情報は限定的であった。日本の成文法体系におけるリーガルリサーチでは、法令・判例に加えて解説書などの二次情報へのアクセスが不可欠である。生成 AI は法情報アクセスの一助となる可能性を示す一方、現時点では出力情報の正確性や網羅性に課題があることが明らかになった。これらの結果は、生成 AI の回答をそのまま利用せず、必ず一次資料に立ち返り精査することの重要性を裏付けるものである。

2025（令和7）年度 通常総会 オンライン開催

2025年11月15日（土）、2025（令和7）年度 通常総会が、Zoomによるオンライン形式で開催された。

2025（令和7）年度 通常総会 議事録抜粋

1. 日 時： 2025（令和7）年11月15日（土）11:00～12:00

2. 方 法： Zoom オンライン開催

3. 議案

1. 報告事項

(1) 会員数の動向

1) 会員数（2025年度総会直前）

正会員 30名、アソシエイト会員 6名、学生会員 0名、賛助会員 0名、名誉会員 0名

合計 36名

2) 入退会状況

入会者 1名、退会者 正会員 5名 アソシエイト会員 2名、資格喪失者 1名、物故者 0名

(2) 2024（令和6）年度 事業報告

1) 報告の事業年度

2024（令和6）年9月1日～2025（令和7）年8月31日

2) 報告の事業概要

① JAISS 通常総会

・2024（令和6）年11月30日 11:00～12:00、オンライン開催

② JAISS 第33回全国大会（東・西支部 合同担当）

・2024（令和6）年11月30日 13:00～17:00、オンライン開催

・テーマ：顧客の感動を生む真のホスピタリティを探る

ー人材育成マネジメントの視点からー

③ ニュースレターNo.38 2025（令和7）年2月28日発行

④ 研究年報 第32号 2025（令和7）年4月1日発行

・研究レポート1編、第33回全国大会報告、基調講演

⑤ 支部活動報告

□ 東日本支部・西日本支部

- ・支部会 サイバー会議 多数開催
- ・合同支部研究会
 - ・2025（令和7）年8月16日、オンライン開催

内容：研究発表、基調講演

⑥ 役員会

- ・理事会、理事連絡会 サイバー会議 多数開催

⑦ 委員会

- ・第33回全国大会委員会、第34回全国大会委員会、研究年報編集委員会、
学会賞・奨励賞選考委員会 サイバー会議 多数開催

(3) 2024（令和6）年度 収支決算報告および監査報告

- ・一般会計、東・西日本支部、第33回全国大会の収支決算報告・監査報告

(4) 2024 年度 学会賞・奨励賞の報告

(5) 2025 年度 研究助成 採択結果

2. 審議事項

(1) 2025（令和7）年度 事業計画について

1) 報告の事業年度

2025（令和7）年9月1日～2026（令和8）年8月31日

2) 事業概要

- ① JAISS 2025 年度通常総会 2025（令和7）年11月15日開催予定
- ② JAISS 第34回全国大会 2025（令和7）年11月15日開催予定
- ③ ニュースレターNo. 39 2026（令和8）年2月28日 発行予定
- ④ 研究年報 第33号 2026（令和8）年4月1日 発行予定

⑤ 支部活動

- ・東日本支部、西日本支部

支部会：サイバー会議 多数開催予定、支部研究会：1回ほど開催予定

⑥ 役員会

・理事会、理事連絡会、常任理事会 サイバー会議 多数開催予定

⑦ 委員会

・第34回全国大会委員会、第35回全国大会委員会、研究年報編集委員会、
学会賞・奨励賞選考委員会 サイバー会議 多数開催予定

(2) 2025（令和7）年度 収支予算案について

日本国際秘書学会
2025（令和7）年度 一般会計 収支予算（案）
（2025年9月1日～2026年8月31日）

（単位：円）

収入			支出		
科目	2024年実績	2025年予算	科目	2024年実績	2025年予算
前年度繰越金	2,639,350	2,771,954	全国大会準備金	150,000	150,000
全国大会返戻金	132,557	150,000	研究年報発行費	108,222	110,000
東日本支部研究会収入	0	0	研究助成費	0	0
西日本支部研究会収入	0	0	学会賞・奨励賞	6,425	10,000
会員年会費			印刷費	0	0
2025年度分	--	264,000	通信費	3,990	50,000
2024年度分	288,000	16,000	広報活動費	39,600	40,000
2023年度分	16,000	0	消耗品費	1,776	2,000
雑収入	24,800	0	会議会合費	0	5,000
預貯金利息	3,350	0	旅費交通費	0	0
			支部活動費	20,275	60,000
			雑費	0	5,000
			振込手数料	1,815	2,000
			租税公課	0	0
			分科会活動費	0	0
			特別活動費	0	0
			次年度繰越金	2,771,954	2,767,954
合計	3,104,057	3,201,954	合計	3,104,057	3,201,954

(3) 役員改選選挙の結果ならびに新役員候補案

JAISS 2025～2027 年度 役員候補者（案）

		候補者名	備 考	所 属
理 事	推 薦 理 事	藤村 やよい	理事会推薦・現職 会長就任予定	日本秘書協会
		串田 敏美	理事会推薦・現職 副会長就任予定	産業能率大学
	選 挙 理 事	今泉 景子	追加候補・現職 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	名古屋外国語大学
		北岡 昭子	追加候補 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	近畿大学 九州短期大学
		栗原 裕	追加候補・現職 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	愛知大学
		笹瀬 佐代子	追加候補 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	元常磐短期大学
		周藤 亜矢子	追加候補・現職 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	尚美学園大学
		辻 京子	追加候補・現職 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	茨城女子短期大学
	監 事	高池 宣彦	追加候補 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	常磐大学
		森田 篤司	追加候補・現職 (推薦者：大塚映・藤村やよい・串田敏美)	大阪国際大学 短期大学部

※ 追加候補 50 音順

※ 理事会推薦：現理事会承認済み

支部だより

【東日本支部】 東日本支部長 辻 京子
【西日本支部】 西日本支部長 北岡 昭子

◆活動報告

2024年度の研究会は、2025年8月16日(土)、東・西日本支部合同にてZoomによるオンライン形式で開催されました。大阪国際大学短期大学部の森田篤司先生の研究発表(テーマ「行動経済学を使った現場での試行の取り組み」)および、清泉女子大学地球市民学部の安齋徹先生の基調講演(演題「地域連携や産学連携を通じた女性人材育成の新天地」)が行われました。

◆活動計画

2025年度の研究会も、東・西日本支部合同開催を予定しております(日時未定)。後日、研究発表の募集をご案内いたしますので、ご応募いただけましたら幸いです。また、講演者のリクエストがございましたらご提案ください。

◆会員の皆様

東日本支部長 辻 京子

この度2025年11月15日付にて、東日本支部長を拝命いたしました辻でございます。会員の皆様の研究・交流がより一層深まるよう、微力ながら努めてまいり所存です。

今後とも、皆様のお力添えを賜りながら、支部活動を進めてまいりたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

西日本支部長 北岡 昭子

この度2025年11月15日付、西日本支部長を拝命いたしました北岡でございます。甚だ微力ではございますが、会員の皆様のご研究にお役立ていただけるような活動を考えてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局からのお知らせ

第35回全国大会 予告

開催日時：2026年 秋頃（決定次第、HPにてお知らせします）

開催会場：未定

◎JAISS 研究年報の既刊号を販売しています。

購入希望の方は本部事務局までご連絡ください。（1部1,000円）

◎会員情報の変更届について

ご所属、ご住所、ご連絡先等のご変更が生じましたら、

下記のフォームにご入力いただくか、本部事務局までメールでご連絡ください。

- ・連絡フォーム：<https://qr.paps.jp/5KI1U>
- ・本部事務局 E-mail：jaissjimukyoku@gmail.com

◎新入会員をご推薦ください。

入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.jaiss.sakura.ne.jp/nyukai.htm>

2022年より、会員1名の推薦者で申し込むことができるようになりました。

日本国際秘書学会 発行

本部事務局

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57番地

名古屋外国語大学 現代国際学部 今泉研究室

E-mail：jaissjimukyoku@gmail.com

ホームページ：<http://www.jaiss.sakura.ne.jp/index.html>